



生活に関する調査レポート2015

小学館女性インサイト研究所は20～50代の女性1177名を対象に「生活に関する意識調査」を行いました。この調査では、多くの女性が今現在、自分の生活や消費について、どういった考えを持っているのかを幅広くリサーチ。生活に関するさまざまな項目について、今、女性はどのような気持ちで、何を欲しているのかを全8回に分けて発表してまいります。

生活に関する調査レポート目次

- 調査レポート01（2015年3月30日更新）今の幸福度と必須条件
- 調査レポート02（2015年4月6日更新）消費意欲の傾向
- 調査レポート03（2015年4月13日更新）項目別消費意欲調査（1）
- 調査レポート04（2015年4月20日更新）項目別消費意欲調査（2）
- 調査レポート05（2015年4月27日更新）項目別消費意欲調査（3）
- 調査レポート06（2015年5月11日更新）項目別消費意欲調査（4）
- 調査レポート07（2015年5月18日更新）項目別消費意欲調査（5）
- 調査レポート08（2015年5月25日更新）項目別消費意欲調査（6）

調査方法：インターネットによるアンケート、追加メール取材
調査対象：小学館の女性誌を読んだことのある全国の20～50代の女性1177名

生活に関する調査レポート2015 01 ～幸福度に関する調査～

今現在の自分の置かれている状態を、女性たちは幸せと捉えているのか、それとも幸せではないと捉えているのか。また、近未来の展望は明るいと考えているのか、それとも暗いと考えているのか。今現在、漠然と感じている自分の状況、今後の展望をアンケート調査により数値化しました。

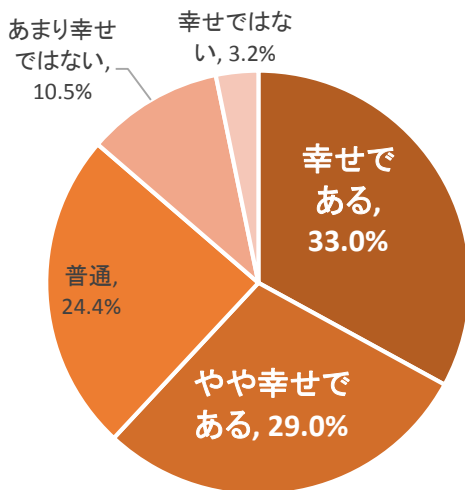
調査方法：インターネットによるアンケート、追加メール取材
調査対象：小学館の女性誌を読んだことのある全国の20～50代の女性1177名

近未来に対して、ほとんどの女性が幸福なイメージを持っている

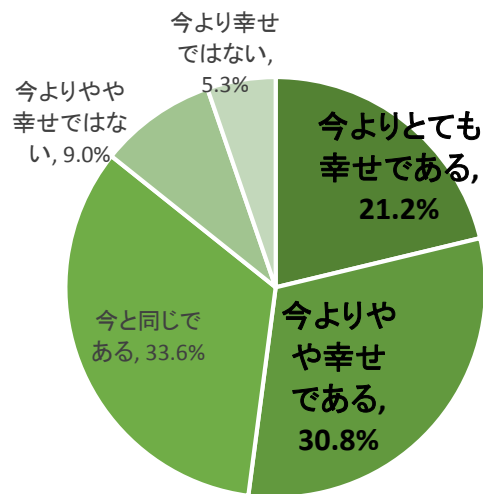
アンケートの結果、今の生活を「普通～幸せである」と考えている女性が全体の86.4%と大多数を占めました。「あまり幸せではない」「幸せではない」と考えている人は全体の13.6%にとどまりました。

「10年後の「幸福度」は今と比較してどうなっていると思いますか？」という質問に対しても、85.6%が「今と同じ～今よりとても幸せである」と回答しており、大多数の人が10年後の未来を明るく捉えていることがわかりました。

Q.今の生活の「幸福度」を直観で構わないので教えてください。

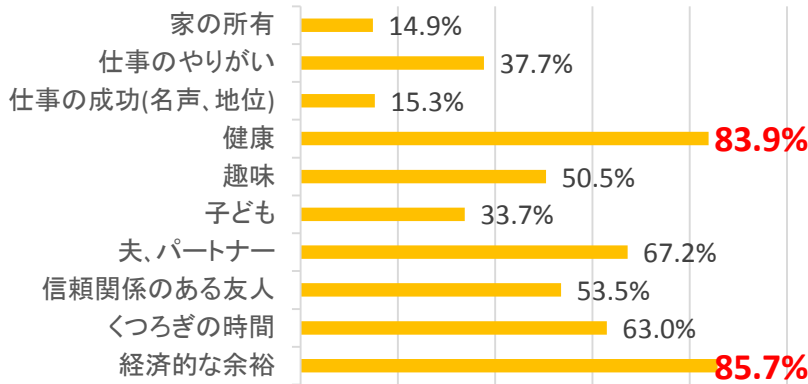


Q.10年後の「幸福度」は今と比較してどうなっていると思いますか？





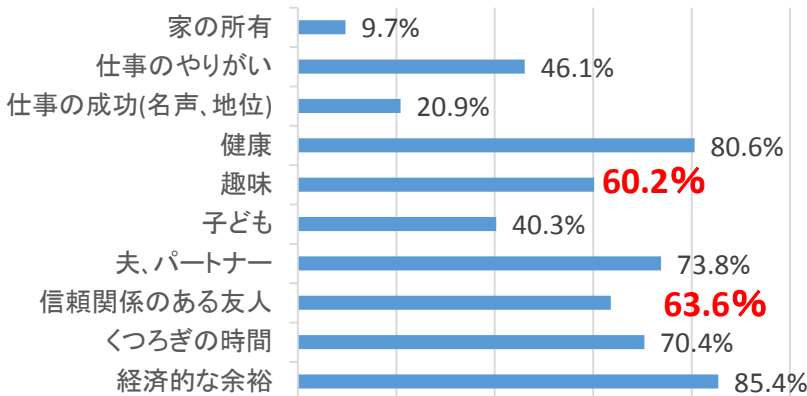
Q「幸福な人生」に、絶対に欠かせないものは何
 だと思いますか？【全体】



「お金」と「健康」があれば
 幸福な人生が送れる！？

続いて、「幸福な人生」に、絶対に欠かせないものは何だと思いますか？（複数回答可）」という質問に対し、圧倒的な支持を集めたのが1位の「経済的な余裕」（85.9%）と2位の「健康」（83.9%）。この2つは世代別に見ても全世代で共通。女性が描く「幸福な未来」に「お金」と「健康」は必須であるという認識のようです。

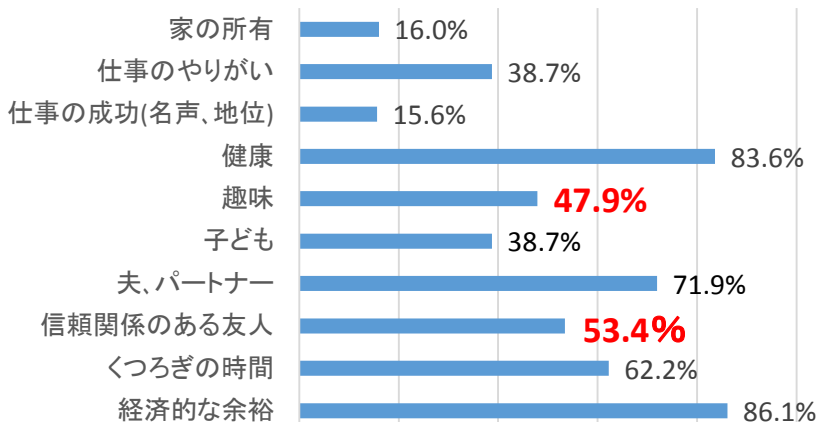
Q「幸福な人生」に、絶対に欠かせないものは何
 だと思いますか？【20代】



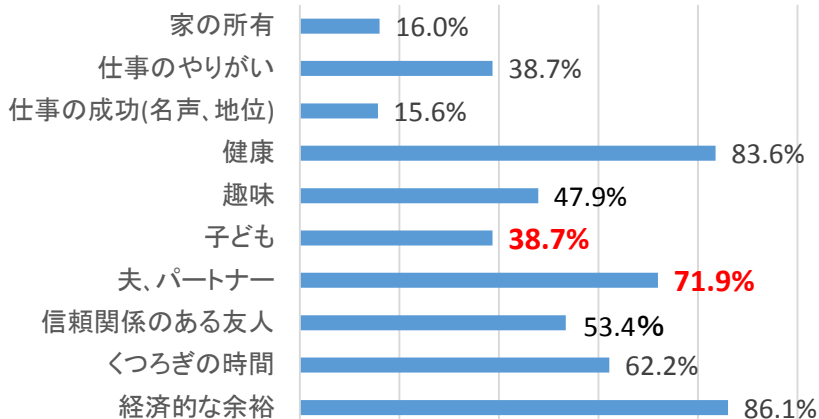
若いときのほうが
 あれもこれもと夢見がち？

「幸福な人生に絶対に欠かせないもの」を世代別に見てみると、「趣味」と「信頼関係のある友人」がと思う人は、20代はそれぞれ60.2%と63.6%であったのに対し、30代になるとそれぞれ47.9%と53.4%、と激減。仕事の昇進や結婚、出産など生活の変化を経て「あれば幸せだけど、絶対必要なものというわけではない」と思う人が増えたのかもしれない。

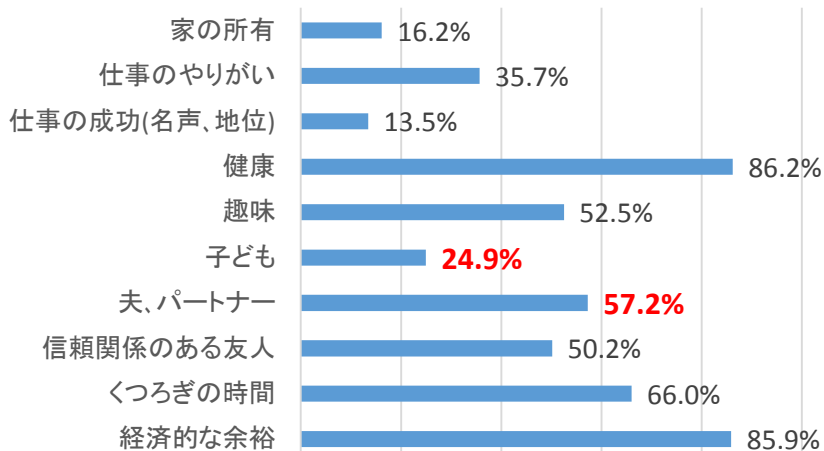
Q「幸福な人生」に、絶対に欠かせないものは何
 だと思いますか？【30代】



Q「幸福な人生」に、絶対に欠かせないものは何 だと思いますか？【30代】



Q「幸福な人生」に、絶対に欠かせないものは何 だと思いますか？【40代】



「夫、パートナー」「子ども」 は必須ではなくなる…？

30代から40代の間でも数値が大きく変化。「子ども」「夫、パートナー」が「幸福な人生」には絶対に欠かせないと思っている人は30代でそれぞれ38.7%、71.9%のところ、40代になるとそれぞれ24.9%、57.2%と15%近くもダウン。こちらは「不要」という意味ではなく、結婚、子育てがひと段落したり、自分の好きなことが見つかったりして、一般的な幸福の象徴とされてきたそれらが仮になくても、幸福な人生を歩めるといふ選択肢に気づく人が多くなったからだと考えられます。

研究所まとめ

「不況」など暗いムードがクローズアップされがちなか中、実際は、多くの女性は「幸福」で前向きに今を過ごしていることがわかりました。また「幸福な人生」に欠かせないものは「健康」と「お金」のほか「くつろぎの時間」「夫、パートナー」「子ども」「趣味」「信頼関係のある友人」も相対的には多く選ばれ、「家の所有」や「仕事の成功」を選んだ人が少なかったのは、物質的な豊かさや評価より、内面的にバランスのとれた人生を求めている人が多いといえます。

調査結果に関するお問い合わせ

株式会社小学館 女性インサイト研究所 担当:安念

TEL: 03-3230-9774 E-mail: pr-islab@shogakukan.co.jp <http://www.insightlab.jp/>